

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

平成31年 2月 4日

三田市議会議長 厚地 弘行 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	印 [Redacted]
		議員名	
派遣者氏名			
視 察 先	〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市役所 ☎0565-34-6566		
	〒430-0928 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 ☎053-457-2505		
	〒439-8650 磐田市国府台3-1 磐田市役所 ☎0538-37-4822		
調査事項 (調査目的)	豊田市:「AI活用の総合案内サービス実証実験」について 浜松市:「駐車場シェアの実証実験」 及び「青春はままつ応援隊」認定制度について 磐田市:「しっぺいのマンホールカード配布」 及び「スポーツ部活」について		
日 時	平成31年 1月29日(火曜日)～平成31年 1月31日(木曜日)		
視察先対応者	豊田市: 議会事務局1名(会場への送迎のみ) 総務部行政改革推進課 塚田 良 課長 総務部行政改革推進課 槌井 功二 主査 浜松市: 議会事務局調査法制課 鈴木啓友 課長、河合一輝氏 総務部政策法務課経営推進 山本治之 課長、宮野浩和 主任 市民部次長市民協働・地域政策地域政策課 岡安章宏 氏 同 藤田裕 課長補佐、同 飯田智也 氏 磐田市: 議会事務局 青島治子 主任 環境水道部下水道課 匂坂正勝 課長、桑原孝浩 副主任 自治市民部スポーツ振興課 天野敏之 課長補佐 静岡県教育委員会健康体育課 清水孝彦 教育主幹		
添付資料	・視察先対応者名刺(写) ・視察事項説明資料(写) ・その他参考資料		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	平成31年1月29日(火) 14時00分～16時00分
視察先	〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市役所 ☎0565-34-6566
調査事項	「AI活用の総合案内サービス実証実験」について
(調査結果の概要及び所見) 愛知県豊田市 42万4100人	
1/29：会派視察（愛知県豊田市：AI活用の総合案内サービス実証実験を実施）	
<p>三菱総合研究所が主催する「行政情報標準化・AI活用研究会」の参加自治体を対象としたAIを活用した総合案内サービス実証実験を行なったもの。</p> <p>AI活用による行政サービスの向上、業務効率化の効果検証が目的で、市職員とeモニター制度登録者（市に登録された市民）を対象に実施した。スマートフォンからの問い合わせに、一般的な質問についてはAIが回答し、個別の情報に関しては市のホームページ内の該当ページに誘導する。利用者がホームページ内を検索する場合に比べて、知りたいことが曖昧でも、AIとやり取りすることで必要な情報にたどりつける。</p> <p>市のホームページから、一般の問い合わせに対し、26分野700件のQ&Aを準備し、要望に近いホームページに誘導することを主な目的としているため、eモニターには概ね好評だったが、市職員は少し不満があるアンケート結果となっている。結果受け、現在34分野1800件のQ&Aを準備し、LINEにも対応されている。</p> <p>将来的には、市民税業務でのRPAやAI-OCRの活用・コネクティッドカー活用の道路点検保守・こども園の入園調整・音声認識による議事録作成・SNS速報配信サービス・市民向け気象サイト開設など、AIの多様な活用が検討されている。ただ、「豊田市仕様では将来的に管理負荷がかかることを考え、できる限りパッケージでの利用を図る」とのことである。成長著しいAIだからこそ、ある意味冷静な判断だと考える。</p>	
1/29：会派視察（愛知県豊田市：コネクティッドカー活用の実証実験を実施）	
<p>…（実証期間：8月1日～9月30日）企業秘密もあり口頭説明のみ</p> <p>トヨタ自動車と連携してコネクティッドカー（常時ネットワークとつながった自動車）を活用して道路保守点検を行う実証実験を実施した。</p> <p>市役所の10キロ四方を走行し、得られた車両データの指標値と実際の路面劣化との適合性を検証し道路保守点検に活用する。車両データから算出した指標値と実際の路面劣化との適合性を検証するほか、指標値による道路修繕箇所の選定抽出等道路保守点検業務への適用の可能性も検証する、とのこと。</p> <p>私は、多くの車両のデータから、道路課題や移動課題をリアルタイムに把握できるため、将来の道路管理手法と考えている。今、Googleが多くの自動車の位置情報から、渋滞を表示する仕組みをサービス提供しているが、コネクティッドカーを活かせば、道路の課題も対応できると考える。</p>	

調査日時	平成31年1月30日(水) 10時00分～12時00分
視察先	〒430-0928 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 ☎053-457-2505
調査事項	「駐車場シェアの実証実験」及び「青春はままつ応援隊」認定制度について
(調査結果の概要及び所見) 静岡県浜松市 80万7900人	
1/30：会派視察（静岡県浜松市：駐車場シェアの実証実験を実施）	
<p>…タイムズ24と損保ジャパン興亜と共同で駐車場シェアの実証実験を行う。</p> <p>市施設を使用した大規模イベントでの駐車場需要増に対応し、インターネットで空駐車スペースの情報を提供するもの。対象イベントは3月25日～4月8日の浜松城公園桜まつりと、8月5日～10日のインターハイバドミントン競技大会。</p> <p>役割として、市は実証実験を市民に周知し、タイムズ24は駐車場シェアリングサービスを提供、損保ジャパンは賠償責任補償保険商品を提供を行なう。</p> <p>実証実験の結果は、桜まつりは公園の無料駐車場に集中し、周知不足もあり34台の実績だったが、インターハイは事前周知と市外の利用に効果があり126台と予定までは行かなかったが、可能性を感じさせる結果となった。</p> <p>実証実験は終わったが、民間業者に可能性が提示でき、独自事業に期待ができる。三田でも、マラソンはじめスポーツなどの行事の駐車場は問題がある。ぜひ、参考にしたい。</p>	
1/30：会派視察（静岡県浜松市：青春はままつ応援隊認定制度）	
<p>市が、地域の魅力の掘り起こしや情報発信にしている高校生団体を「青春はままつ応援隊(アオハル隊)」に認定する制度を始めた。</p> <p>地域の歴史や文化、自然環境などの魅力にターゲットを当て、企画制作・情報発信する、3人以上の高校生で構成された団体が対象とし、認定された団体には認定証と隊員証を交付し、地域で活動する際に会員証を提示すると、市に認定された団体の活動としてPRできる。</p> <p>事業の発端は、市長が市民と昼食しながら意見交換する「チャットでやらまいか」事業の際に、学生から要望されたことから、実現したもの。</p> <p>学生対象なので、年度ごとに認定を行なう。現在、3団体の活動が4月・8月・10月に認定された。第一弾として、浜松学芸中学校・高等学校社会科学部の写真集やカレンダーで地域の魅力発信が認定された。第二弾は県立天竜高校天竜ゼミのフィールドワークで天竜区の魅力掘り起こしと課題抽出と解決策検討が認定された。第三弾は浜松江之島高校芸術科えのせん染井チームの浜松注染手ぬぐいのデザイン・制作が認定された。</p> <p>事業費は少額、高校生の意欲を高め、地域に貢献もできる、一石三鳥の事業と考える制作されたパンフレットを見せていただいたが、見事な出来で、プロ顔負けと思うほどの地域アピールだと思った。この事業に応えられる生徒のパワーにも感心した。</p>	

調査日時	31年1月31日(木) 10時00分～12時00分
視察先	〒439-8650 磐田市国府台3-1 磐田市役所 ☎0538-37-4822
調査事項	「しっぺいのマンホールカード配布」及び「スポーツ部活」について
(調査結果の概要及び所見) 静岡県磐田市 17万400人	
<u>1/31: 会派視察(静岡県磐田市:「しっぺい」のマンホールカード配布)</u>	
<p>「しっぺい」は悉平太郎という名の伝説の犬を元にした市のイメージキャラクターで、ゆるきゃらコンテストで全国9位を獲得したこともあり、市民に人気があり、いろいろな看板にも、また議会のノボリにも入っている。</p> <p>下水道事業の意識付けで始められたが、マンホールの絵をスマホで撮るとアプリからスポーツ振興の映像が流れる仕組みも準備され、シティセールスにもなっている。</p> <p>観光協会でマンホールの絵をカードにしたものを配布することで、一層の周知と、周辺地域からの来訪を実現している。4月28日から年末まで3410枚の配布は、同様他市に比べて周知度が高く、今後、新たな物語を企画中とのこと。</p> <p>この事業は、国土交通省、自治体、下水道関連企業などで作る「下水道広報プラットフォーム」が企画・監修する「マンホールカード」第7弾に参加したもので、市のイメージキャラクター「しっぺい」のマンホールカードを作成し、観光協会で配布している。</p> <p>しっぺいマンホールカードはAR(拡張現実)と連動し、スマホアプリ「ARラボ」でカードを撮影すると、ジュビロ磐田やラグビートップリーグのヤマハ発動機の本拠地で、卓球の水谷隼、伊藤美誠両選手の出身地でもあるスポーツが盛んな浜松市のスポーツプロモーション動画を見ることができる。</p> <p>カードは4000枚作成し、駅前の観光協会において、簡単なアンケートで1人1枚配布している。2千枚で3.5万円+税、18.9円/枚のコストである。</p> <p>事業説明が下水道担当だったため、施設説明や事業意識促進が目標となっていたが、その先にシティセールスや広報を一つの目的とし、情報推進によるシステム展開を図ることで、成果が見込めると考える。今、ARでプロモーション動画が見られるが、これだけスポーツの盛んな磐田市だからこそ、動画に期待を持たせることもできるし、さらにいろいろなマンホールカードを創り、ストーリー展開することで、施設への誘導や、カードと動画やSNSとの連携で一層のシティセールスへと展開できるものと考えます。</p> <p>三田市にもキッピーファミリーというキャラクターがあり、ストーリー展開しながら、シティセールスを図ることが可能である。今回の事例を、ぜひ参考にしたい。</p>	

2019-01-31 会派視察（静岡県磐田市：「磐田スポーツ部活」）

磐田市では、平成17年度より市費による「ふるさと先生制度」（3年期限雇用の非正規で地域に根ざした先生）を活用し、中学3年まで35人/クラスで、少人数学級を実現している。10の中学を学府と名付け、全校区で施設分離型の小中一貫教育に取り組み、小中一体校構想を進めている。（国方針は小学校高学年や中学校は40人/クラスで、部活動には顧問の先生が必要なため、部活動数はクラス正副担任＋専科以下となる）

それでも、1学年2クラスや3クラスの学校があり、部活動の競技数が少ない学校があり、県総合教育会議で2015年9月知事と教育委員会は、「地域スポーツクラブ」の設立に合意し、モデル事業として磐田市で2016年度から3年間実施となった。

事業は、部活（陸上・ラグビー）・スポーツ塾（卓球・柔道・男子バレーボール）・体験教室（トランポリン・硬式テニス・柔道・男子バレーボール）の3事業である。

磐田スポーツ部活は全国初の試みで、静岡県のモデル事業として、通学する中学校に希望する部活がない生徒の運動・スポーツ機会の確保のために始められた。

2016年度は陸上競技部とラグビー部が創設。陸上競技部は市陸上競技協会、ラグビー部はヤマハララグビースクールのコーチが指導する。

夏休みなどに学校部活では体験できないトランポリン・硬式テニスやスポーツ塾の柔道・男子バレーボールとあわせ、体験教室も開催している。

事業予算は2016年度737万円、2017年度349万円、2018年度392万円で人件費・消耗品・バス代などに使用している。

課題は、中体連との関係の中で、合同チームの参加規程など所属校の縛りは外せないため、全国など上部大会に出られないことや試合にはそれぞれの学校の顧問が同行しなければならない等々とても制約が大きい。制度を悪用して、強力チームを作ることを阻止するものだが、そもそも、全国から越境で入学できる私立を考えると、一定範囲の地域からしか参加できないこの制度に縛りをかけすぎではないか、との発言があったが、全く同感である。

偶然にも男子バレーボールの扱いが出されたが、この制度でも参加は少なく、事業継続に課題があるそうである。スポーツは地域特性が強く、名監督に育てられ、メディアに挙げられれば人気は一気に上がるので、人が集まり、強くなり、全国でも活躍すれば、さらに人気が高くなる。卓球など、男女のトップが磐田市出身などその良い例である。

スポーツ振興課とは別にスポーツ戦略室として、県職員を取り込んだ活動は、三田市にも大きな可能性を感じた。学校の再編を進める現状の三田市において、もっと他市の可能性を調べてみる必要性を感じた。

『AI 活用の総合案内サービス実証実験』について（回答）

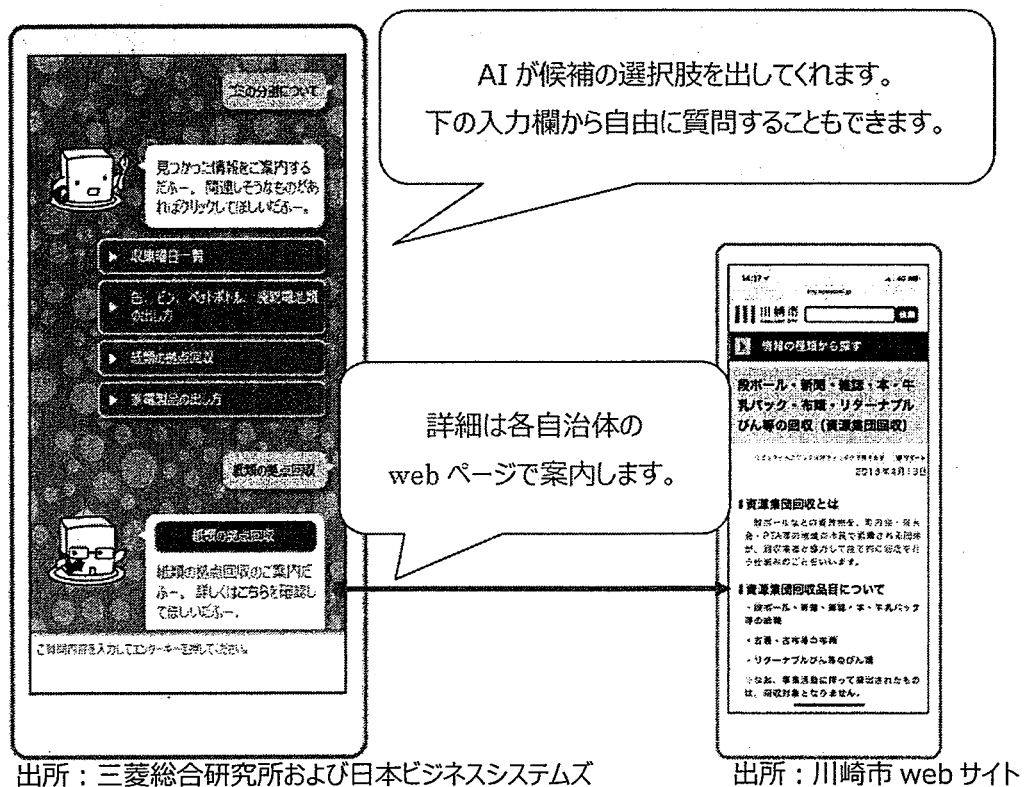
1. 事業概要について

(1) サービスの概要

住民がスマートフォンから AI と対話（チャット）しながら、行政サービスの手続きや制度に関する質問に答えるものです。最終的な回答は、自治体の web ページに誘導する仕組みとなっています。検索と違って知りたいことが曖昧でも、AI とやりとりすることで必要な情報にたどり着くことができます。

※対応分野…妊娠・出産、子育て、教育、結婚・離婚、引越し・住まい、就職・退職、高齢者・介護、ご不幸、戸籍・住民票・印鑑登録（など）、税、国民健康保険、国民年金、水道・ガス・電気、交通、駐輪・駐車、都市計画、ごみ・環境保全、食品・衛生、ペット、消費生活、健康・医療、文化・スポーツ・生涯学習、市民活動・コミュニティ、防災、防犯、救急・消防（26 カテゴリ）

※サービスイメージ図



駐車場シェアの実証実験について

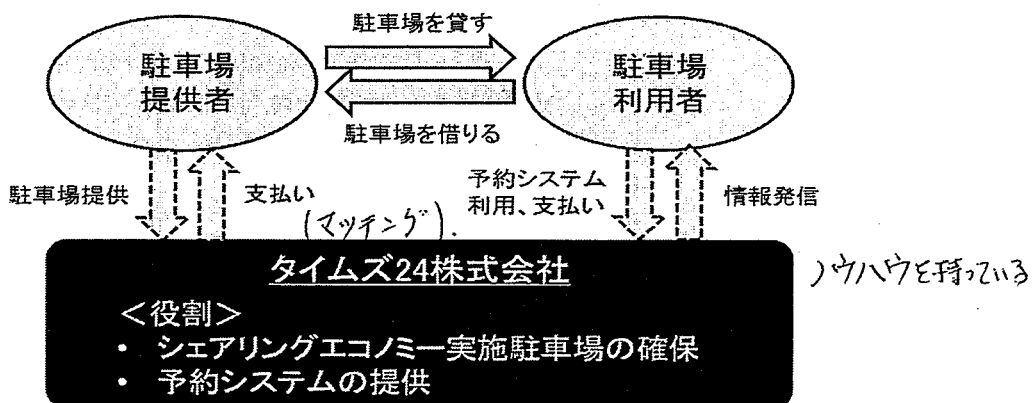


総務部政策法務課経営推進担当
平成31年1月30日(水)

1

概要

シェアリングエコノミー…インターネットを介して、個人間でモノや場所、技能などを取り引きするサービス形態。
主な取り組みに、いわゆる「民泊」の「Airbnb」、遊休資産の活用を行う「スペースマーケット」、
観光体験プランを提供する「TABICA(タビカ)」などがある。
駐車場シェア…インターネットを活用して、空いている駐車スペースを来訪者に貸し出すサービスで、シェアリングエコノミーの一形態。



連携

浜松市

- ・ 駐車場サービス情報の提供(市民への説明)

「民⇄民」で行われるシェアリングエコノミーの取り組みを公益目的から側方支援

損保ジャパン日本興亜株式会社 (ノウハウを持っている)

<役割>

- ・ 事故対応(施設に起因する賠償責任を補償する保険の提供)
- ・ シェアリングエコノミー実施駐車場の確保

2

、補助道開通、等

しっぺいマンホールカードについて

磐田市環境水道部下水道課